

## 邸園の概要

※特別なイベント以外は非公開です。

所在地 大磯町東小磯 285

建設年 明治 30 年 (1897)

構造 木造／平屋建／アルミ板瓦棒寄棟



## 明治ゆかりの邸園

旧大隈重信邸は、明治期に政治家・教育者として活躍した大隈重信が別荘として建設した建物です。

## 邸園の概略

大隈重信は、明治 15 年 (1882) に立憲改進黨を結成すると共に、東京専門学校 (現在の早稲田大学) を創設しました。明治 31 年 (1898)、自由党の板垣退助と日本で最初の政党内閣を組織し、総理大臣に就任しました。その前年に、大磯の地に別荘を構えました。

現在は、東に隣接する旧陸奥宗光邸と合わせて庭園を含めた敷地面積は約 8,000 坪、家屋は一部増改築がなされていますが、庭に面する居室部分はほぼ往時のままで保存されています。

社交家の大隈重信は、2 間の和室、計 26 帖の大広間「富士の間」でよく宴会を開いていました。書院風の部屋で、1 間の床の間と付書院があり、床柱は面取のサルスベリが用いられています。

建物東側の宝形屋根の棟は、大隈が書齋として使っていた部屋で、「神代杉」をふんだんに使った「<sup>じんだい</sup>神代の間」と呼ばれており、床の間には檜の一枚板や竹の床柱が用いられています。

写真提供：大磯町

出典：『大磯のすまい』大磯町教育委員会、1992

「日本の別荘・別邸」『別冊太陽』平凡社、2004